



森さやか選手おめでとう！

読売センター毛呂から号外新聞の
特大パネルが寄贈されました

8月3日、森さやか選手の金メダル獲得を記念して、読売新聞の販売店である「読売センター毛呂」から町に、日本ソフトボールチームが金メダルを獲得した際に出された号外新聞をそのまま大きくしたパネルが寄贈されました。このパネルは、縦約1.5メートル、横約1メートルあり、現在、役場庁舎ロビーに掲示してあります。役場に来庁した際には、ぜひ皆さんもご覧ください。



わっしょい♪わっしょい♪

ゆずの里保育園 夏祭り

7月15日、ゆずの里保育園で夏祭りが行われました。園児たちは、元気に盆踊りを踊ったり、おみこしを担いだりと、夏祭りを楽しみました。そして、園児たちが、食べ物屋さんやヨーヨー釣り屋さんなどのお店の人になって、お店屋さんごっこも行いました。お店には、手作りのおもちゃや食べ物が並び、お買い物を楽しむ子どもたちの笑顔で溢れていました。



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

日頃の成果を発表しました

川角中学校 文化部発表会

7月15日、川角中学校で文化部発表会が行われました。この文化部発表会は、文化部の日頃の成果を全校に向けて発表し、また、仲間の作品や発表を落ち着いた態度で鑑賞することで、芸術作品への鑑賞する能力や態度を養うことを目的に実施されたもので、吹奏楽部による発表や、美術部によるステージ発表が行われました。



こうや 紺屋の技術を体験

歴史民俗資料館 夏休み藍染め体験教室

7月24日、歴史民俗資料館で「夏休み藍染め体験教室」が開催されました。藍染めはタデ科の植物の藍の葉を



はっこう発酵させた植物染めで、かつては町内にも藍染めを行う紺屋が何軒かありました。参加者は、藍染めサークルの皆さんに教わりながら、藍のしぼり染めと藍の葉をそのまま使った藍染めの技術を体験しました。

「毛呂山の火」を聖火へ

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル
「毛呂山の火」点火式開催

8月18日、総合公園体育館前広場で「毛呂山の火」点火式が行われました。点火式では、町内の福祉施設の利用者や小中学生などの参加者が、キャンドルに灯された炎を集火し、その火を最後に井上町長がランタンへと移しました。このランタンの火が「毛呂山の火」として、埼玉県の「パラリンピック聖火」の元となる火の一つとなりました。



はかなく、可憐なハスが一面に

総合公園に古代ハスが咲き誇りました

総合公園グラウンド西側の調整池内に、たくさんの「古代ハス」が咲きました。毛呂山町では、総合公園プール跡地を利用して、古代ハスの栽培を行っていましたが、総合公園を中心とした官民連携事業を実施するため、調整池に移設を行いました。6月頃から、肥料の散布や藻の除去などを行い、6月18日に開花、そして8月初旬には、100を超えるハスが見事に咲き誇りました。



コロナ収束祈願の願いを込めて

サマーフェスティバルもろやま2021
えきびょう
疫病退散サプライズ花火

8月14日、「ドカンと一発！ 疫病退散サプライズ花火」として、町内4か所から花火が打ち上げられました。これはサマーフェスティバル実行委員会（毛呂山町商工会事務局内）主催によるもので、コロナ禍で気持ちが落ち込みがちのなか、町民の皆さんの心を元気にするために、また医療従事者等の方々への感謝の気持ちを伝えるため企画されたものです。当日の天気は、あいにくの雨となってしまいましたが、毛呂山町の夜空に輝く大輪の花火に元気づけられた町民の皆さんもたくさんいたのではないのでしょうか。



コロナ支援として活用します

いるま野農業組合から

コシヒカリ1000キログラムの寄贈

8月5日、いるま野農業協同組合から毛呂山町に「令和2年産米コシヒカリ」1,000キログラム（5キログラム入り200袋）が寄贈されました。

同組合では、新型コロナウイルス等の影響により食糧支援を必要とする方々に対する「JA共済の地域貢献活動」の取り組みとして、いるま野管内の生産農家が丹精込めて収穫したお米を管内市町に寄贈する活動をしています。町は本活動の趣旨を踏まえ、町内のひとり親世帯に対するコロナ支援策として配布を行いました。

